



自分で 決める！

令和5年4月14日
熊本市立健軍東小学校
校長 吉田 高広

あたたかな春の日差しが降り注ぎ、新学期の到来を告げているようです。

健軍東小学校区の保護者の皆様・地域の皆様、新年度になりましたので、改めましてご挨拶申し上げます。本年度で健軍東小学校二年目となります、吉田と申します。どうぞよろしくお願い申し上げます。

昨年度初めに次のような感想を綴ってあるのを目にしました。

※以下「」内下線部分は昨年度の学校便りより「本校に赴任してまず感じたことは、「この健軍東校区は、地域の方々のパワーにあふれている」ということです。子どもたちのことを大切に思い、子どもたちを守る様々な活動をあらゆるところで行っておられます。ややもするとこのような住宅街の地域は、人と人とのつながりが希薄になりがちなのではないか、という勝手な思い込みを、この校区の空気が一気に払拭させてくれるのを感じた次第です。そのような恵まれた環境にある地域の学校であるせいか、実際に子どもたちと接すると、いきいきとしていて、気が利いている、という印象を受けます。まだ、ほんの少しだけ、ほんのある一面しか見ていないのかもしれませんが、この子どもたちを、よりよく育てていきたい、と感じさせてくれる出会いでした。」

一年間経ちましたが、全くもってその印象は変わっていないなあ、と思いながら読んだところでした。今後とも保護者の皆様・地域の皆様、ご理解ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

タイトル「自分で決める！」に寄せて

昨年度のタイトル「いちよう」に替わっての、本年度のタイトル「自分で決める」には、次のような思いを含めています。昨年度初めの職員とのワークショップを経て決めた学校目標のサブタイトル～“自分で決める”を合言葉に～を全校に浸透させるべく、学校集会や、始業式・終業式等で子どもたちに向けてこれをアピールしてきました。この「自分で決める」は、いろいろなことについて自分で決め、その選択に責任をもち、先々で何か起きたとしても人のせいにはしないことや、何事にもやる気をもって取り組めることをねらったものです。要するに子どもたちに“主体性”を育み、これから先の先行き不透明な時代の中でも、自ら判断し行動し、自ら課題を解決できるような人になってもらいたいという願いを含めて設定しました。

本年度もそれを踏襲しつつ、さらに発展的な取組をしながら子どもたちの主体性を高めていきたいと考えています。その手始めとしまして4月4日の職員会議の冒頭に、本校の学校経営方針を私の方から全職員へ伝えました。その後、子どもたちの主体性を育むために①授業で ②学校生活（指導）の中で ③職員の校務分掌の中でどんなことができるのか、グループに分かれて話し合ってもらいました。その後グループで出されたことを、全体に向けて発表してもらいました。具体的には次のようなものです。

ピンク は授業で **黄色** は学校生活で **水色** は職員の校務分掌で の意見です

- ・学習課題を自分で選べるような準備
- ・めあてと振り返りを行う（選択できるような配慮も）
- ・どの形で学習するかを主体的に決める（席・自主学習・レベル）
- ・教師が教えるだけではなく、子どもが取り組んでみて難しさを感じた場面で「手伝ってください」と言えるようにする
- ・あいさつをできるような指導を学校全体で行う
- ・当番、係など自分が役に立ちたいことを主体的に決める
- ・食に抵抗がある子はまず一口から、給食も自分で食べられる分量を決める